

**製品名: PABPN1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00180**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 49 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PABPN1
別名	OPMD; PAB2; PABII; PABP2; PABP-2
遺伝子 ID	8106
SwissProt ID	Q86U42
免疫原	ヒト PABPN1 の合成ペプチド

**背景**

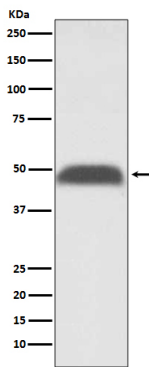
上流の切断産物に 200~250 塩基のポリ(A)テールを付加することにより、mRNA 前駆体 (pre-mRNA) の 3'末端形成に関与する。ポ

リ(A)ポリメラーゼ (PAPOLA) を刺激し、ポリ(A)テール伸長反応にプロセッシング能力を付与するとともに、ポリ(A)テールの長さも制御する。ポリ(A)ポリメラーゼの RNA に対する親和性を高める。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



PABPN1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の PABPN1 のウエスタン ブロット分析。